

## 2025年度 最終学年(卒業予定者)アンケート【医療科学部】集計結果

このアンケートは、最終学年の学生を対象に「意欲」「成長実感・満足度」を問うものです。

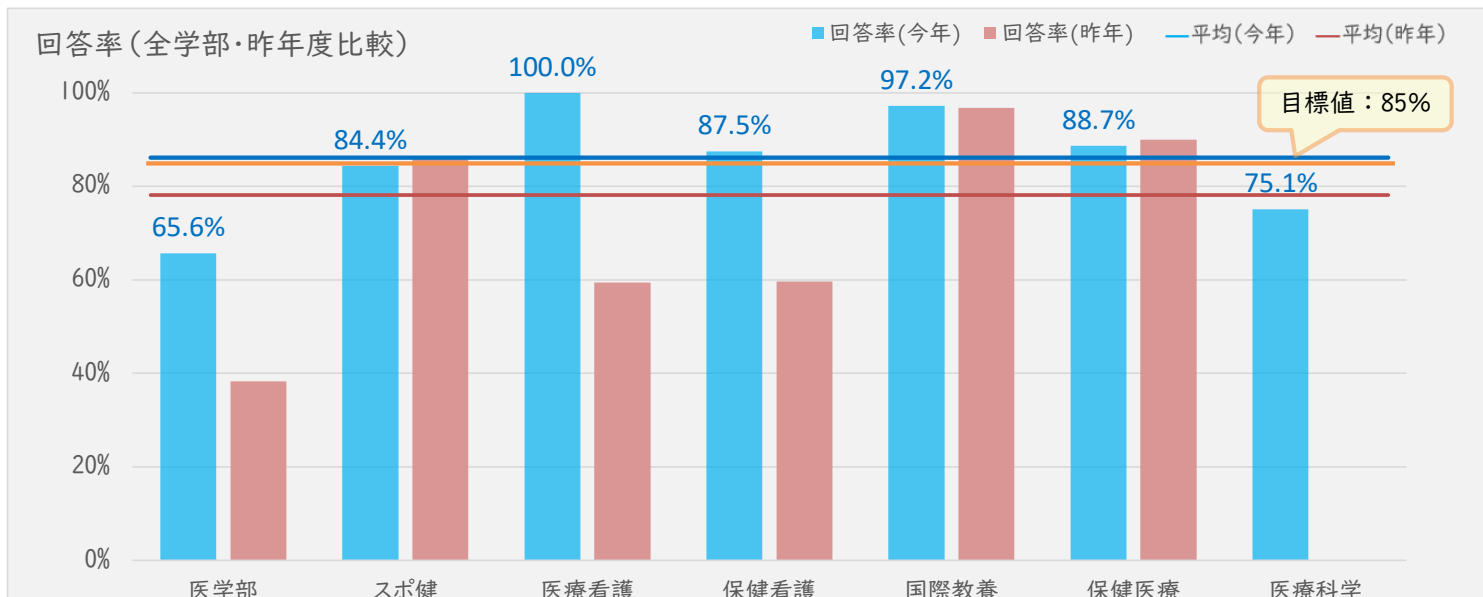
- 実施期間：2026年2月9日～2026年3月11日 ※学部毎に実施期間は異なる。  
●対象学生：アンケート開始時点で在籍している最終学年(卒業予定者)の学生 ※休停学、留学中の学生は除く

## ■回答率

| 最終学年アンケート<br>(卒業予定者) | 今年度     |           |       |       |         |      |       |        | 昨年度    |       |       |
|----------------------|---------|-----------|-------|-------|---------|------|-------|--------|--------|-------|-------|
|                      | 回答率     | (昨年比)     | 許容誤差* | 回答者   | (昨年比)   | 未回答者 | 対象者   | (昨年比)  | 回答率    | 回答者   | 対象者   |
| 医学部                  | 65.65%  | (+27.35%) | 6.19% | 86名   | (+32名)  | 45名  | 131名  | (-10名) | 38.30% | 54名   | 141名  |
| スポーツ健康科学部            | 84.45%  | (-1.65%)  | 1.72% | 505名  | (-3名)   | 93名  | 598名  | (+8名)  | 86.10% | 508名  | 590名  |
| 医療看護学部               | 100.00% | (+40.61%) | 0.00% | 205名  | (+88名)  | 0名   | 205名  | (+8名)  | 59.39% | 117名  | 197名  |
| 保健看護学部               | 87.50%  | (+27.84%) | 3.27% | 112名  | (+41名)  | 16名  | 128名  | (+9名)  | 59.66% | 71名   | 119名  |
| 国際教養学部               | 97.19%  | (+0.39%)  | 1.25% | 173名  | (-39名)  | 5名   | 178名  | (-41名) | 96.80% | 212名  | 219名  |
| 保健医療学部               | 88.66%  | (-1.39%)  | 2.27% | 211名  | (+3名)   | 27名  | 238名  | (+7名)  | 90.04% | 208名  | 231名  |
| 医療科学部                | 75.15%  | ---       | 4.34% | 127名  | ---     | 42名  | 169名  | ---    | ---    | ---   | ---   |
| ★全学部合計(平均)           | 86.16%  | (+8.00%)  | 0.97% | 1419名 | (+122名) | 228名 | 1647名 | (-19名) | 78.16% | 1170名 | 1497名 |

※ 許容誤差：信頼水準95%の場合、母集団からどの位の誤差が生じているかを表す指標（推奨目安：5%以内）

※ 表内色種：上位1項目：緑背景、平均以下：赤背景



## □ 設問内容・目次

## 1. 意欲に関する設問

1\_01. 卒業後の仕事や進学に対し、どのように思っていますか。(複数選択可)

## 2. 成長実感・満足度に関する設問

2\_01. 大学生活を振り返って、満足していますか。【全学部共通】

2\_02. 大学生活で経験してよかったことは何ですか。

2\_03. 大学生活でやり残したことや後悔があれば、それはどのようなことですか。【全学部共通】

2\_04. 以下は、医療科学部のディプロマ・ポリシーです。それぞれ、身につけているかどうか、自己評価してください。

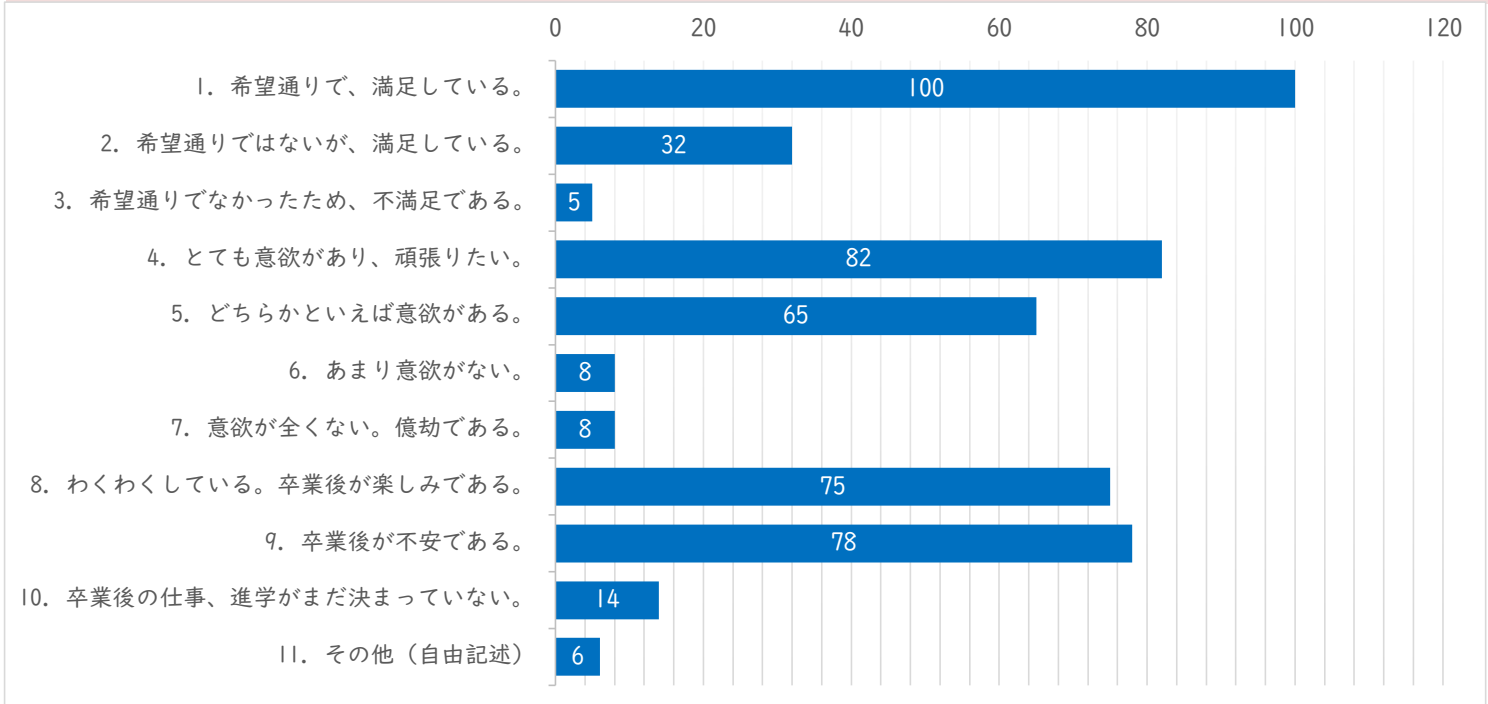
## ■アンケート結果

※グラフ中の数値は回答数

## 【1. 意欲に関する設問】

## Q1-01. 卒業後の仕事や進学に対し、どのように思っていますか。(複数選択可)

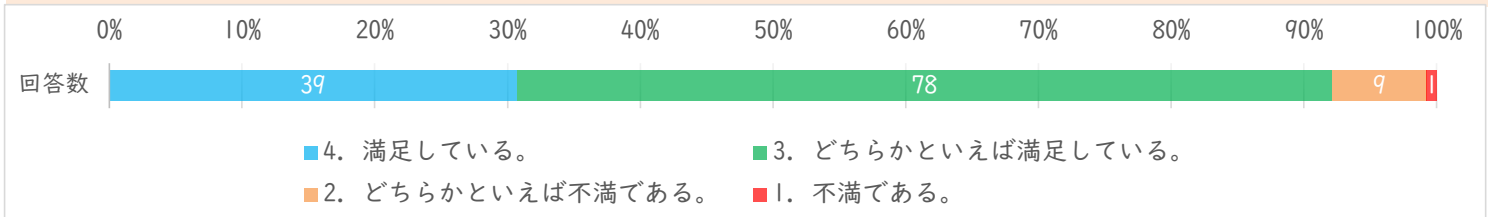
※学部別



## 【2. 成長実感・満足度に関する設問】

## Q2-01. 大学生生活を振り返って、満足していますか。また、差し支えなければその理由を、入力欄へ記入してください。

※共通



## 【その他(自由記述回答)・抜粋】

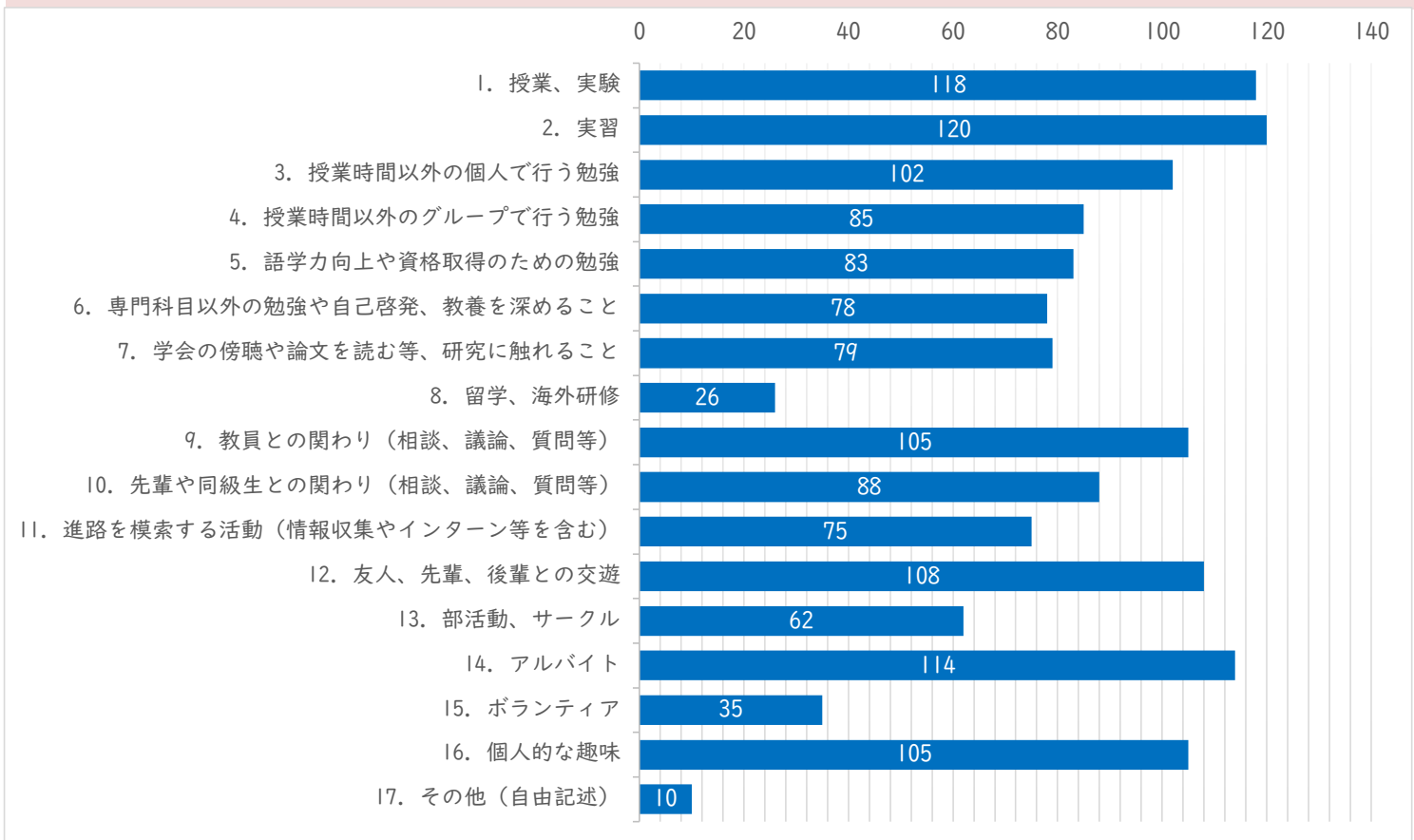
- ・専門分野の知識を着実に身につけることができました。
- ・カリキュラムに沿って学ぶ中で、自分の成長を実感することができました。
- ・授業だけでなく、オープンキャンパスや自治会、部活動などにも取り組み、多様な経験を得ることができました。
- ・友人とともに学び、時には学内外で交流しながら充実した時間を過ごすことができました。
- ・多くの友人や教員と出会い、人とのつながりの中で学ぶことができました。
- ・仲間と協力しながら学業に取り組むことで、着実に経験を積むことができました。
- ・学びを中心とした大学生活の中で、自分の目標に向けて取り組むことができました。
- ・やりたいことに取り組む機会があり、自分なりに充実した学生生活を送ることができました。
- ・忙しい時期もありましたが、その中で計画的に学びを進める経験ができました。
- ・大学生活を通して、自分の希望していた成果や経験を一定程度得ることができました。
- ・振り返ると、学びや人との関わりを通して、自分なりに充実した4年間だったと感じています。

## 【2. 成長実感・満足度に関する設問】

(続き)

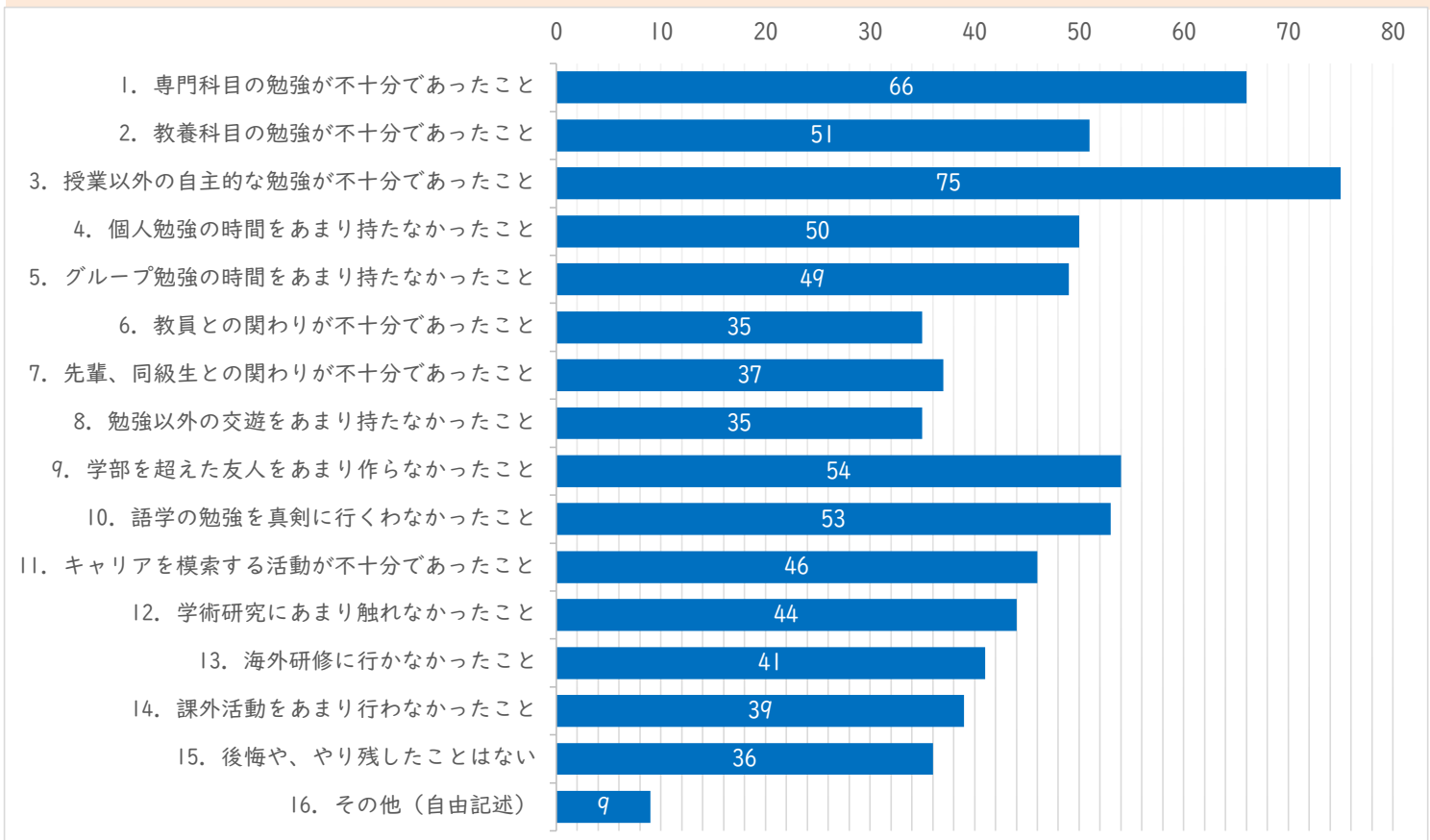
## Q2-02. 大学生活で経験してよかったことは何ですか。(複数選択可)

※学部別



## Q2-03. 大学生活でやり残したことや後悔があれば、それはどのようなことですか。(複数選択可)

※共通



## 【2. 成長実感・満足度に関する設問】

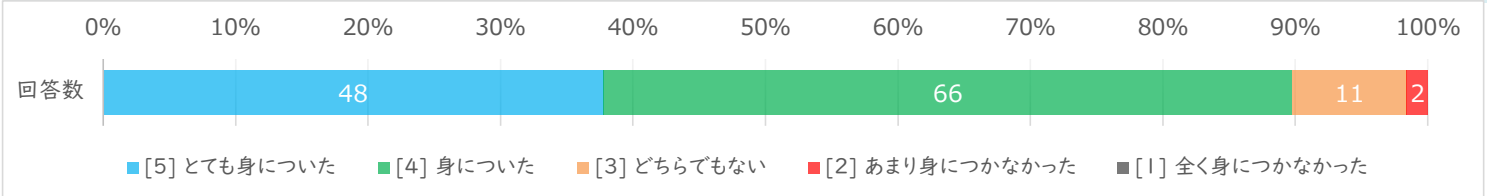
(続き)

Q2-04. 以下は、医療科学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）です。  
それぞれ、身についているかどうか、自己評価してください。

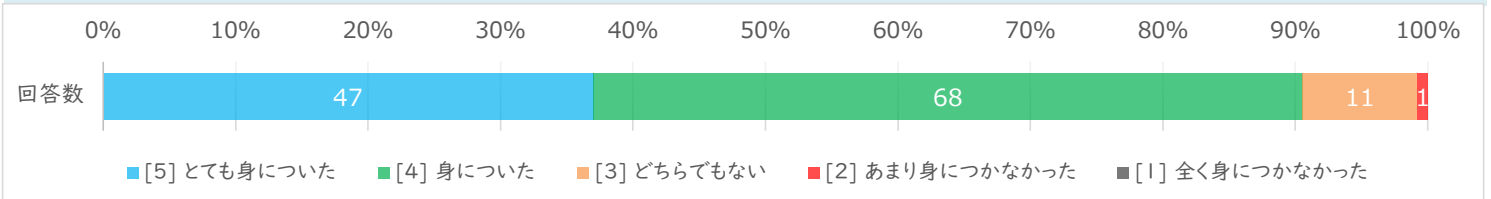
※学部別

## &lt;医療科学部共通&gt;

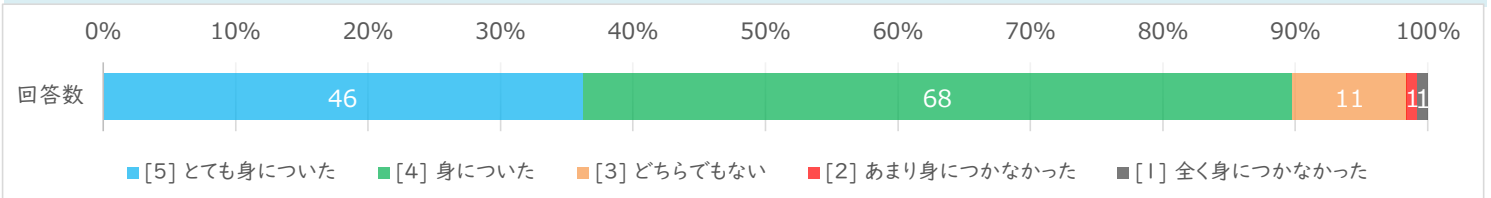
① 人間尊重の理念と高い倫理観を持ち、豊かな人間性を備えて人間の生活と健康状態における普遍性と多様性に強い関心と深い理解を示し、社会に貢献できる能力



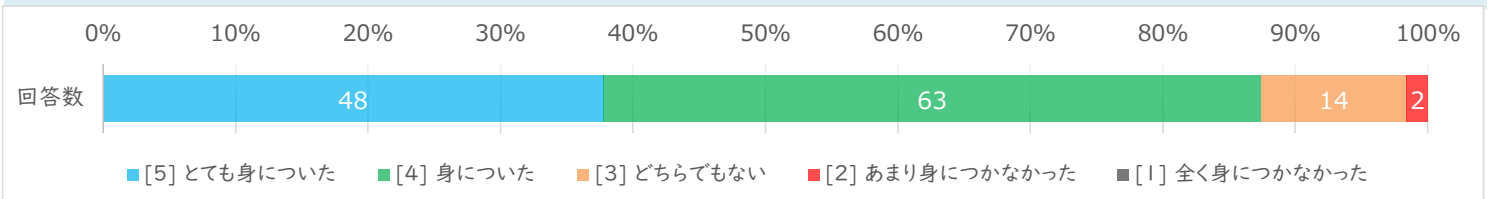
② 良質な医療を提供するうえで求められる、患者や他の医療職者に対して適切にコミュニケーションできる能力



③ 医学・医療に係る基本的知識を身につけるとともに、自己の専門分野における科学的根拠に基づいた体系的な専門知識を修得し、実践能力を発揮することができる能力



④ 自己の専門分野に対する向上心と研究心を持ち、生涯を通して継続して自己研鑽に励み、自己成長していく能力



## 【2. 成長実感・満足度に関する設問】

(続き)

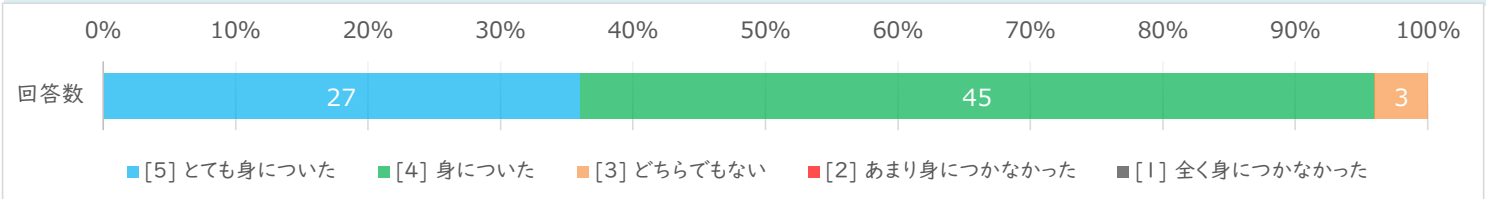
Q2-04. 以下は、医療科学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）です。  
それぞれ、身につけているかどうか、自己評価してください。

※学部別

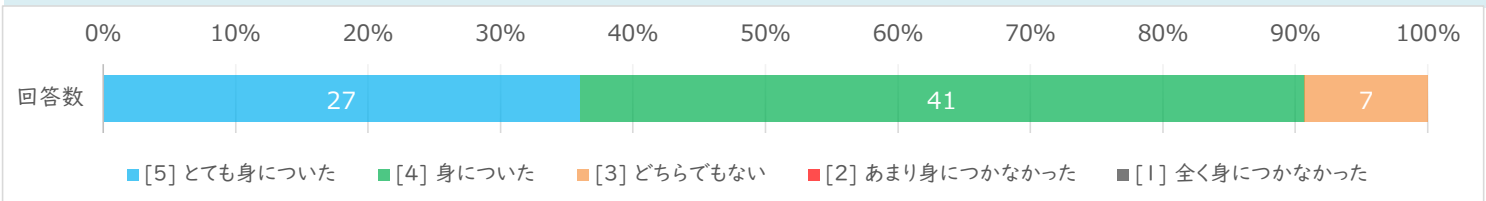
(続き)

## &lt;臨床検査学科&gt;

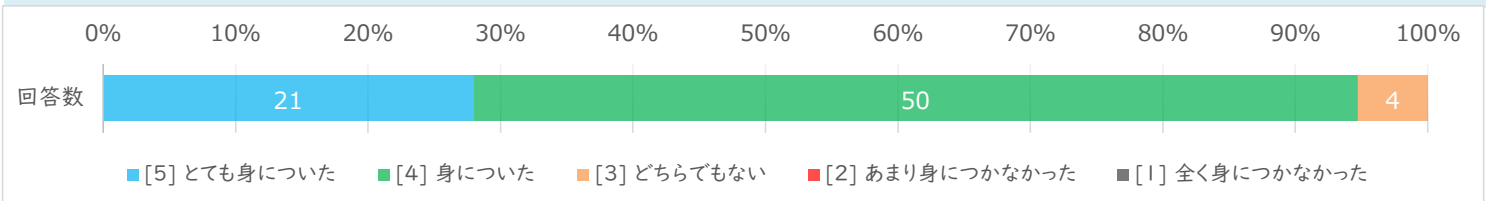
## ⑤ 人間の生命・人権を尊重し、高い倫理観と豊かな人間性を備え、社会に貢献できる能力



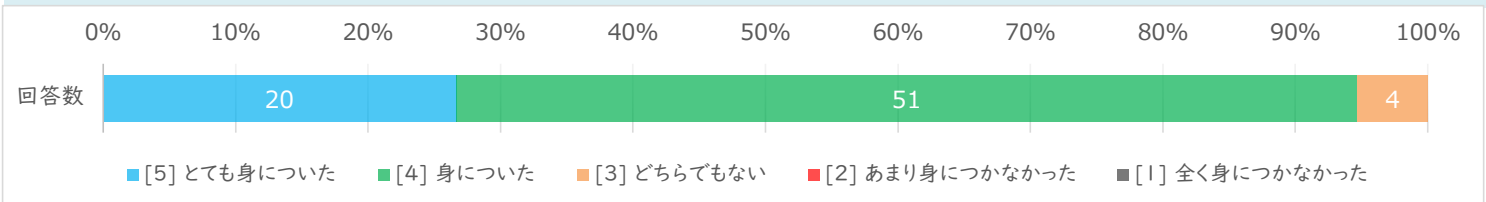
## ⑥ 他者の思いや考えを理解し、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力



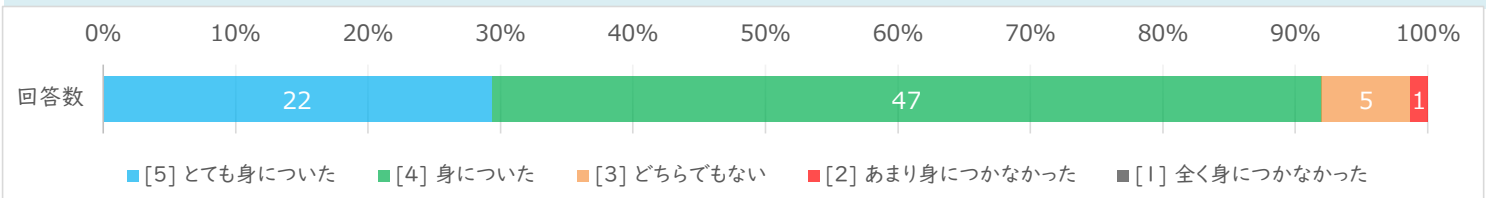
## ⑦ 人体の機能や構造及び疾患の病態に応じた診断・治療を理解し、人々の健康・疾病・障害に対する観察力や判断力が身に付いている



## ⑧ 臨床検査及び周辺領域に関する専門的知識と医療技術を持ち、科学的根拠に基づいた有効な臨床検査を実践できる能力



## ⑨ 臨床検査学に対する向上心と研究心を持ち、生涯に亘って主体的に継続して学修に取り組むことができる能力



## 【2. 成長実感・満足度に関する設問】

(続き)

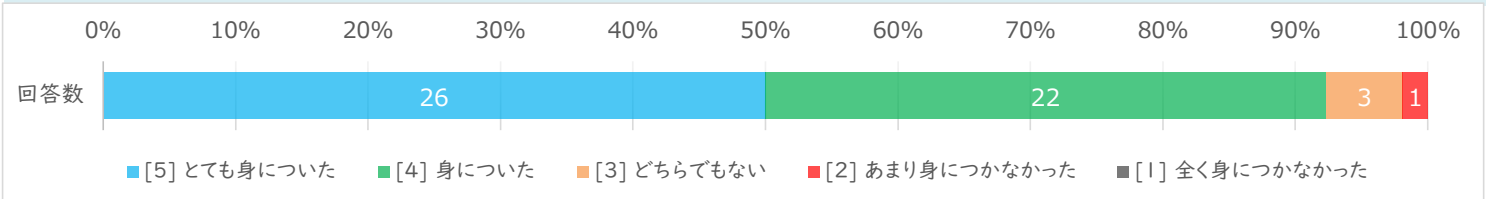
Q2-04. 以下は、医療科学部のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）です。  
それぞれ、身につけているかどうか、自己評価してください。

※学部別

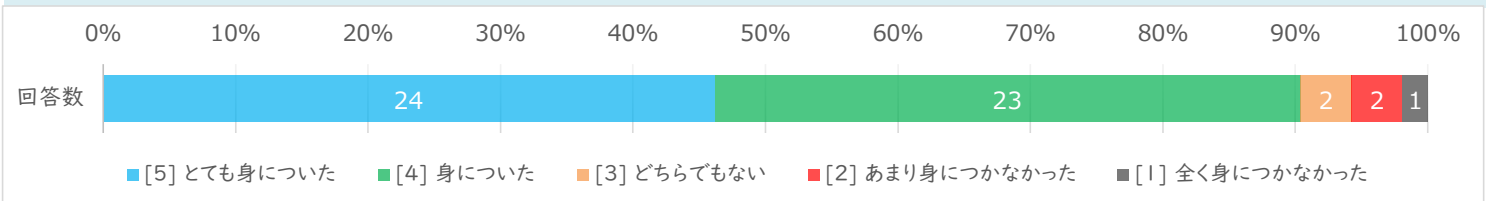
(続き)

## ＜臨床工学科＞

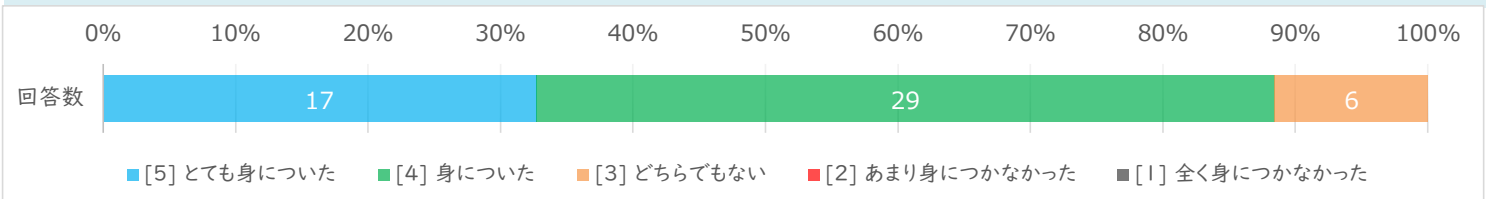
## ⑤ 人間の生命・人権を尊重し、高い倫理観と豊かな人間性を備え、社会に貢献できる能力



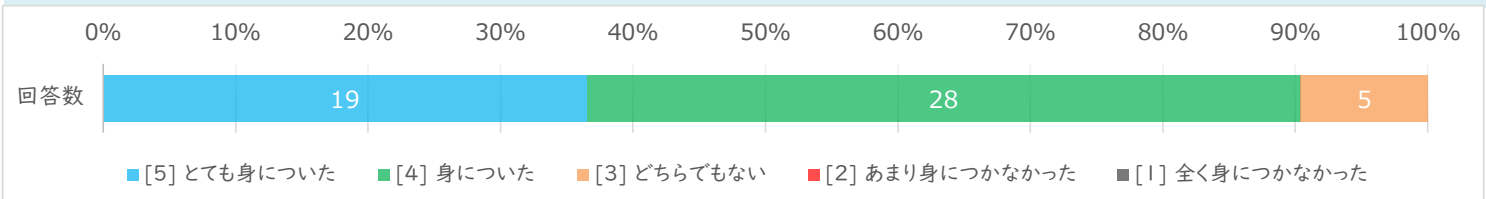
## ⑥ 他者の思いや考えを理解し、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力



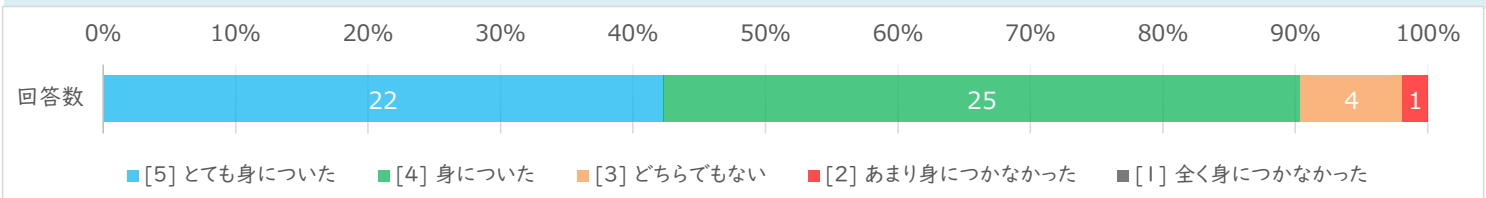
## ⑦ 人体の機能や構造及び疾患の病態に応じた診断・治療を理解し、人々の健康・疾病・障害に対する観察力や判断力が身に付いている



## ⑧ 医療機器の高度化・多様化に対応し、科学的根拠に基づいた医療機器の管理・操作・保守・点検を実践できる確実な専門的知識と技術



## ⑨ 臨床工学に対する向上心と研究心を持ち、生涯に亘って主体的に継続して学修に取り組むことができる能力



End